

## 5-2 東海地域とその周辺地域の地震活動（1999年5月～1999年10月） Seismic activity in around the Tokai area (May, 1999-October, 1999)

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図は1999年5月～1999年10月の東海地域とその周辺地域における月別震央分布である。また、第2図には主な地震の発震機構解（下半球等積投影）を示す。今期間、東海地域では5月に静岡・山梨県境付近でM4クラスの地震が発生したが、その後は静穏な状態で経過した。伊豆半島東方沖の活動は静かな状態が続いた。新島・神津島近海ではM3クラスの地震が時々発生する程度で活動レベルは低かった。周辺地域では茨城県南部、千葉県北東部、千葉県東方沖、東京湾でM4クラス、千葉県北西部でM5クラス、茨城県沖でM4～M5クラスの地震が発生した。また、和歌山県北部でM5クラス、長野県北部でM4クラスの地震が発生した。1月下旬から始まった三重県中部の活動は低下している。

各月の活動状況は次の通り。

5月：7日に静岡・山梨県境付近でM4.7の地震が発生した。震源の深さは20kmでプレート境界より上部で発生した。この地震は余震活動を伴ったが順調に減衰した。発震機構は北西－南東方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型であった。三重県中部の地震活動は減衰傾向だが、すぐ西隣りの奈良県内で16日M3.7を最大とする活動があった。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。25日に伊東港付近で最大M2.5の小規模な活動があったが、短期間で終わった。福井県嶺北地方の地殻内で2日にM3.5の地震が発生した。長野県中部の地殻内で3日の最大M3.8の地震を含む活動があった。この地震は1月28日M4.7の地震の余震域内で発生した。

6月：静岡県西部で12日にM3.5、20日にM3.0のいずれも地殻内の地震があった。駿河湾では石花海堆付近で16日にM2.7、伊豆松崎沖で25日にM2.9の地震が発生した。富士山付近で21～23日にM2未満の低周波地震がややまとまって観測された。伊勢湾で16日にM3.0、26日にM3.4の地殻内の地震が発生した。三重県中部では14日のM3.6の地震を最大とする浅い地震活動が続いている。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。4日に茨城県沖でM4.2、27日に茨城県南部でM4.1の地震が発生した。京都から滋賀県にかけてM3クラスの地殻内の地震が散発した。

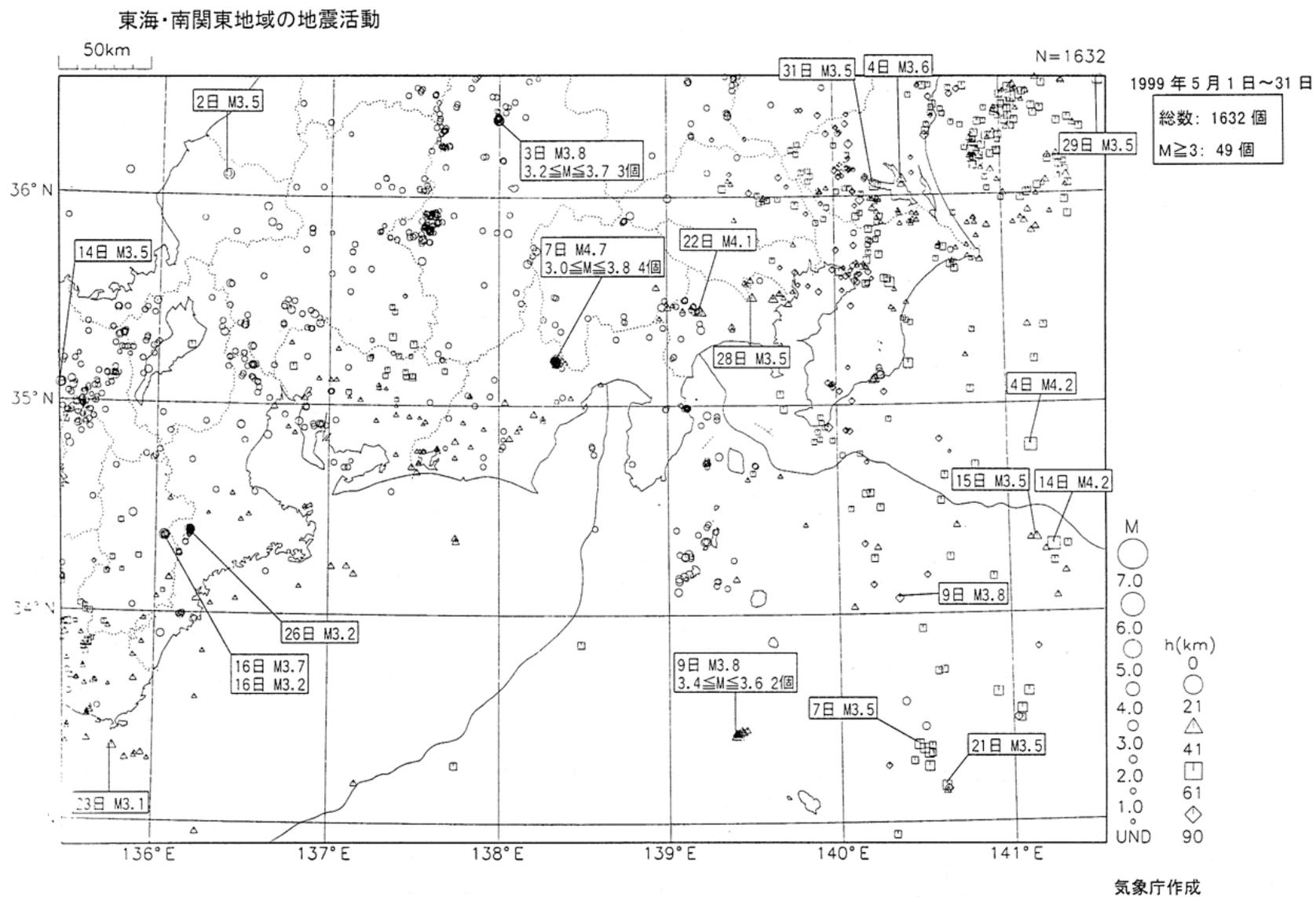
7月：静岡県西部で26日にM3.4のフィリピン海スラブ内の地震が発生した。伊勢湾付近で5日にM3.1の地殻内の地震、28日にM3.1のスラブ内の地震が発生した。三重県中部では浅い活動が続いている（6月の最大は28日のM3.2）。奈良県地方のフィリピン海スラブ上端付近で18日にM4.0、21日にM3.2の地震が発生した。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。新島・神津島近海で2～4日に最大M3.8の地震を含む小規模な活動があった。伊豆大島東部で30日から最大M2.7のややまとまった活動があった。伊豆大島の1986年噴火時、火口の東側で活動があったが、この場所では時々まとまった活動がある。千葉県北東部の太平洋プレート上面付近で15日にM4.9、千葉県東方沖（沖合）で18日にM4.2、千葉県東方沖（沿岸）のフィリピン海、太平洋両スラブの境界付

近で22日にM4.0、茨城県沖で23日にM4.5などM4クラスの地震が続いて発生した。

8月：駿河湾南方沖で17日にM3.0の地震があった。愛知県西部のフィリピン海スラブ内で5日と12日にM3クラスの地震が発生した。三重県中部では浅い地震活動が続いている。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。伊豆大島西方沖で7～8日に最大M2.0のややまとまった活動があった。岐阜県飛騨地方で2日にM3.9、東京湾のフィリピン海スラブ内で11日にM4.0、和歌山県北部のフィリピン海スラブ内で21日にM5.4の地震が発生した（8月から地震のマークに震源の深さを追加した）。

9月：三河湾の地殻内で24日にM3.8の地震が発生した。この付近では1945年に三河地震（M6.8）が発生している。静岡県西部のフィリピン海スラブ内で30日にM3.5の地震が発生した。三重県中部では浅い地震活動が続いている。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。伊豆大島西方沖で15～16日に最大M2.4の活動があった。長野県北部で9日に最大M3.6のややまとまった活動があった。千葉県北西部の太平洋スラブ上面付近で13日にM5.0の地震が発生した。

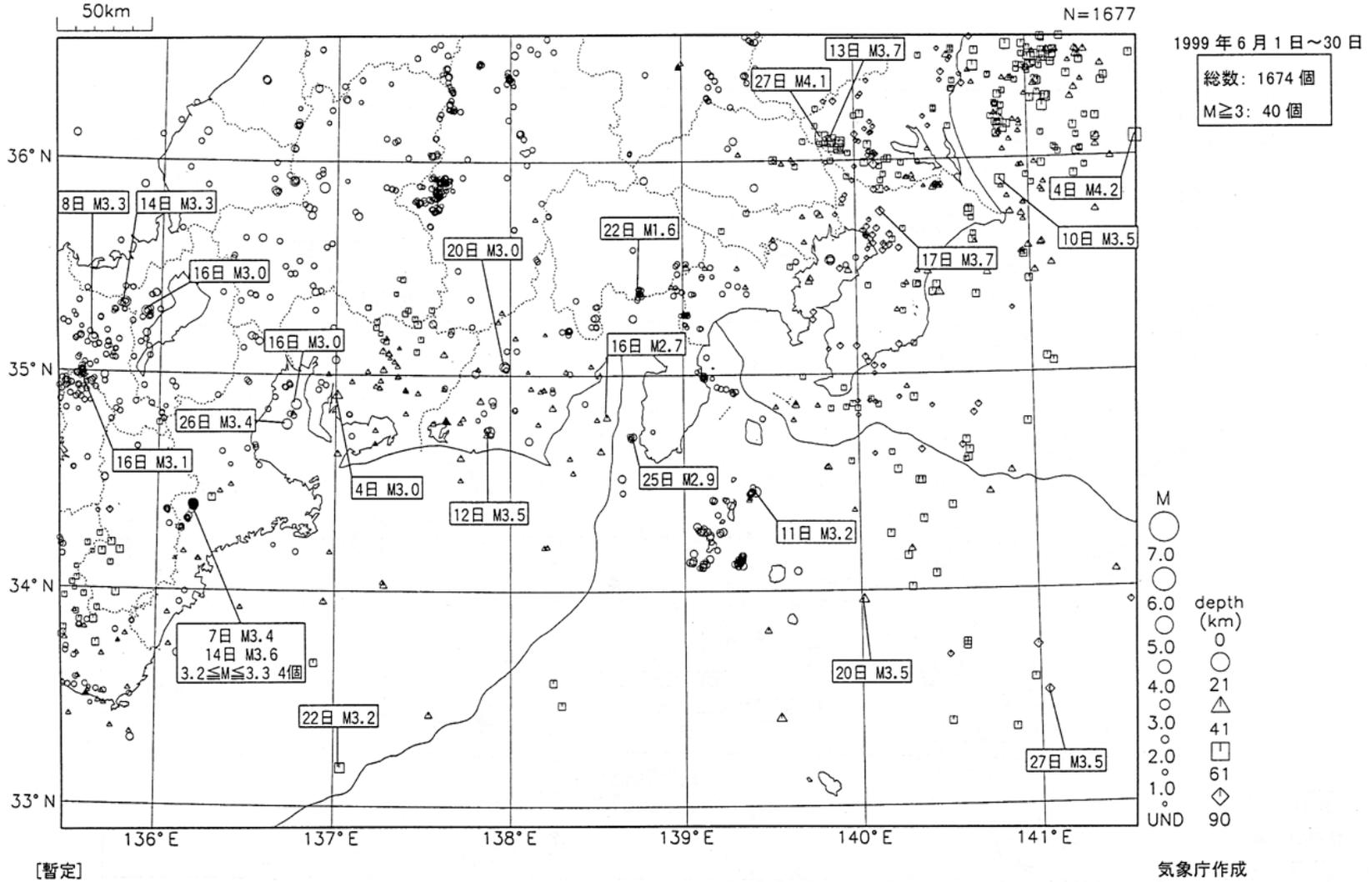
10月：浜名湖付近のフィリピン海スラブ内で16日にM3.3、18日にM3.5、31日にM3.1の地震が発生した。浜名湖付近には地震が密集して発生する場所があり、地震活動が活発だったが、1994年頃から活動レベルが低下している。三重県中部では浅い地震活動が続いているが、地震数は減少している。伊豆半島東方沖の活動域では静かな状態が続いている。茨城県沖で16日にM5.0、19日にM4.7の地震が発生するなど、ややまとまった活動があった。八丈島東方沖で19日にM4.2、23日にM4.5の地震が発生した。八丈島近海で28日に最大M3.7の小規模な活動があった。長野県北部（松代付近）の地殻内で29日にM4.0の地震が発生した。



第1図 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1999年5月~1999年10月)

Fig.1 Monthly plot of epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 1999-October, 1999).

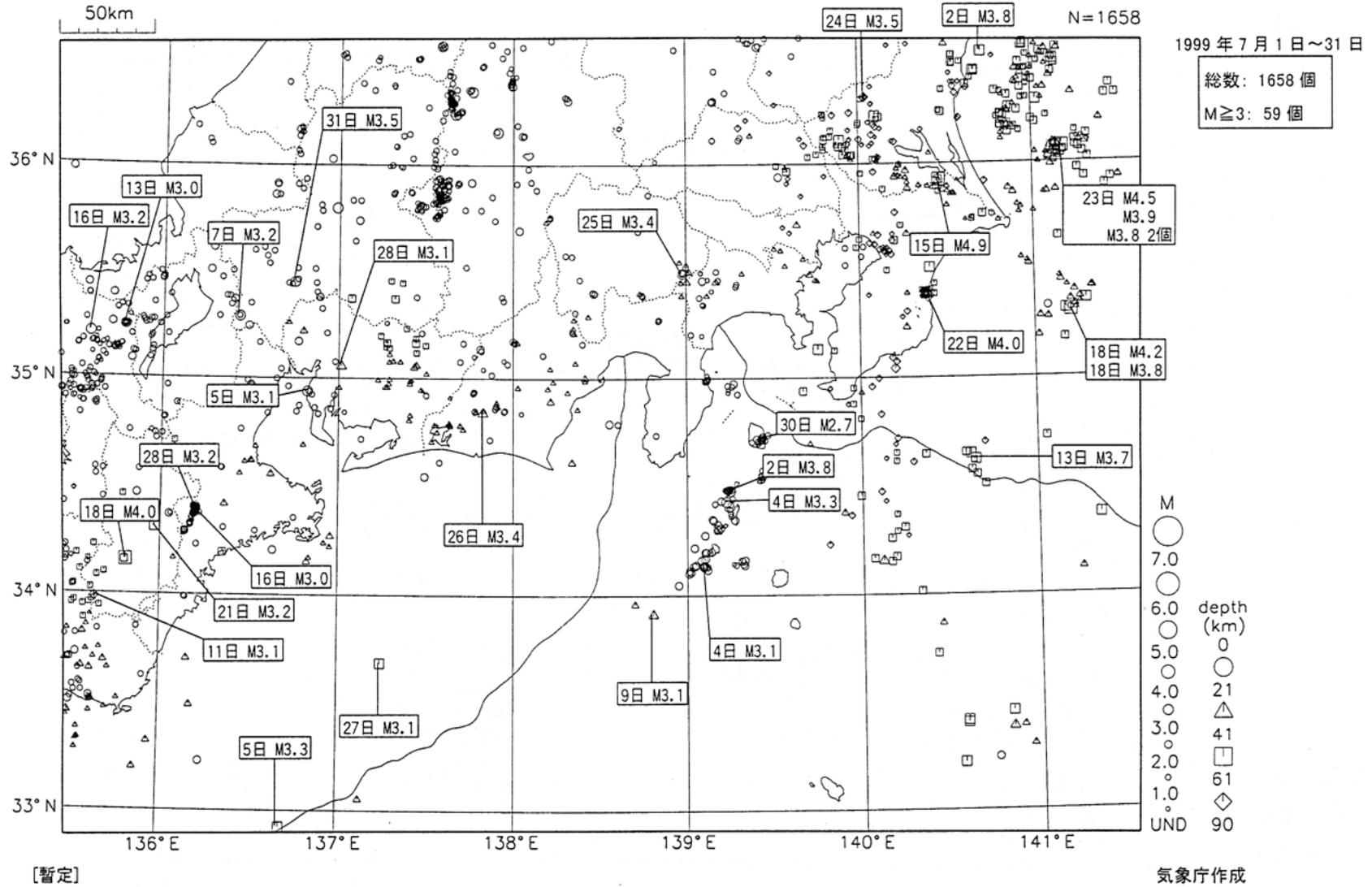
東海・南関東地域の地震活動



第1図 つづき。

Fig.1 continued

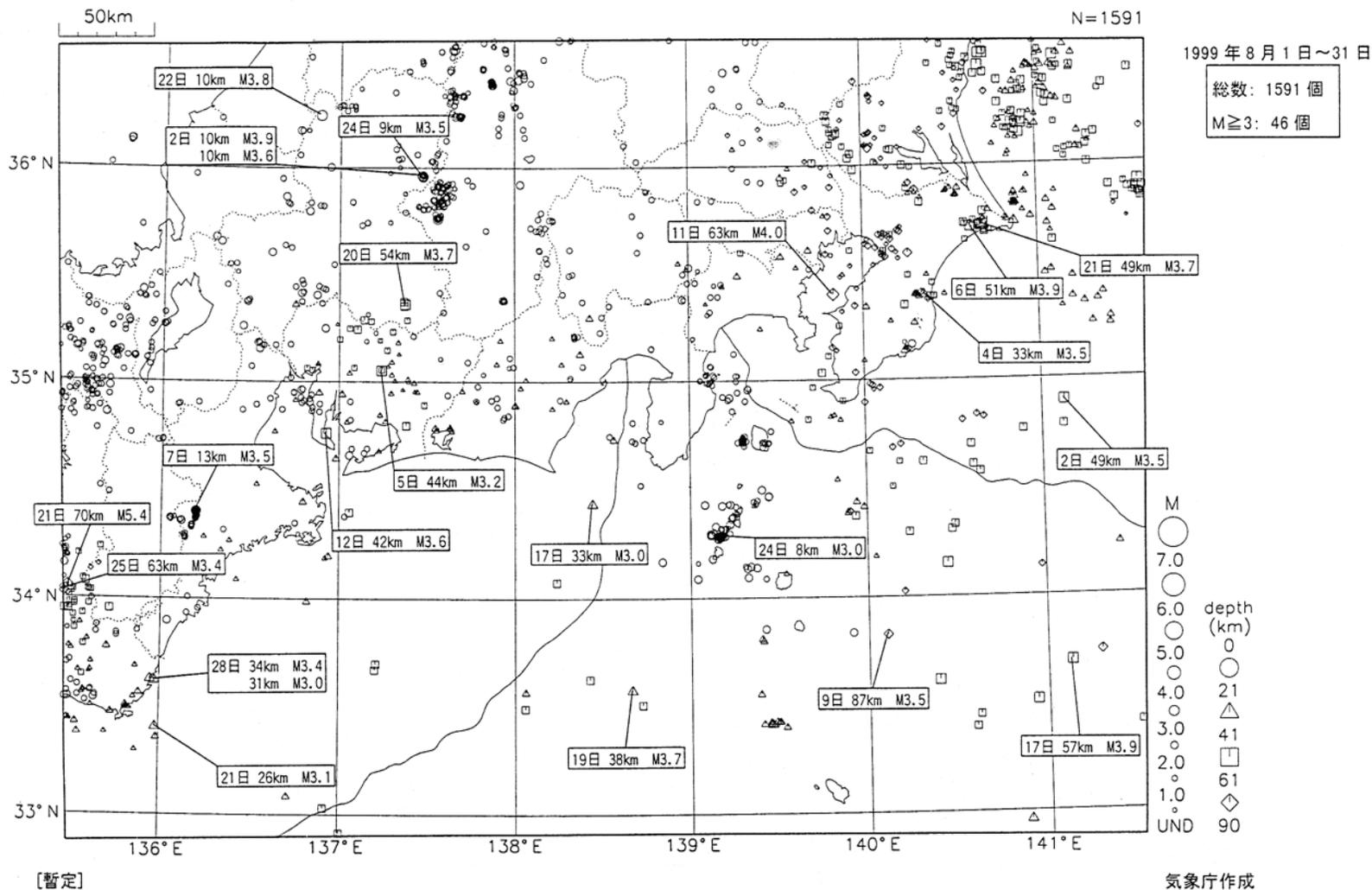
東海・南関東地域の地震活動



第1図 つづき。

Fig.1 continued

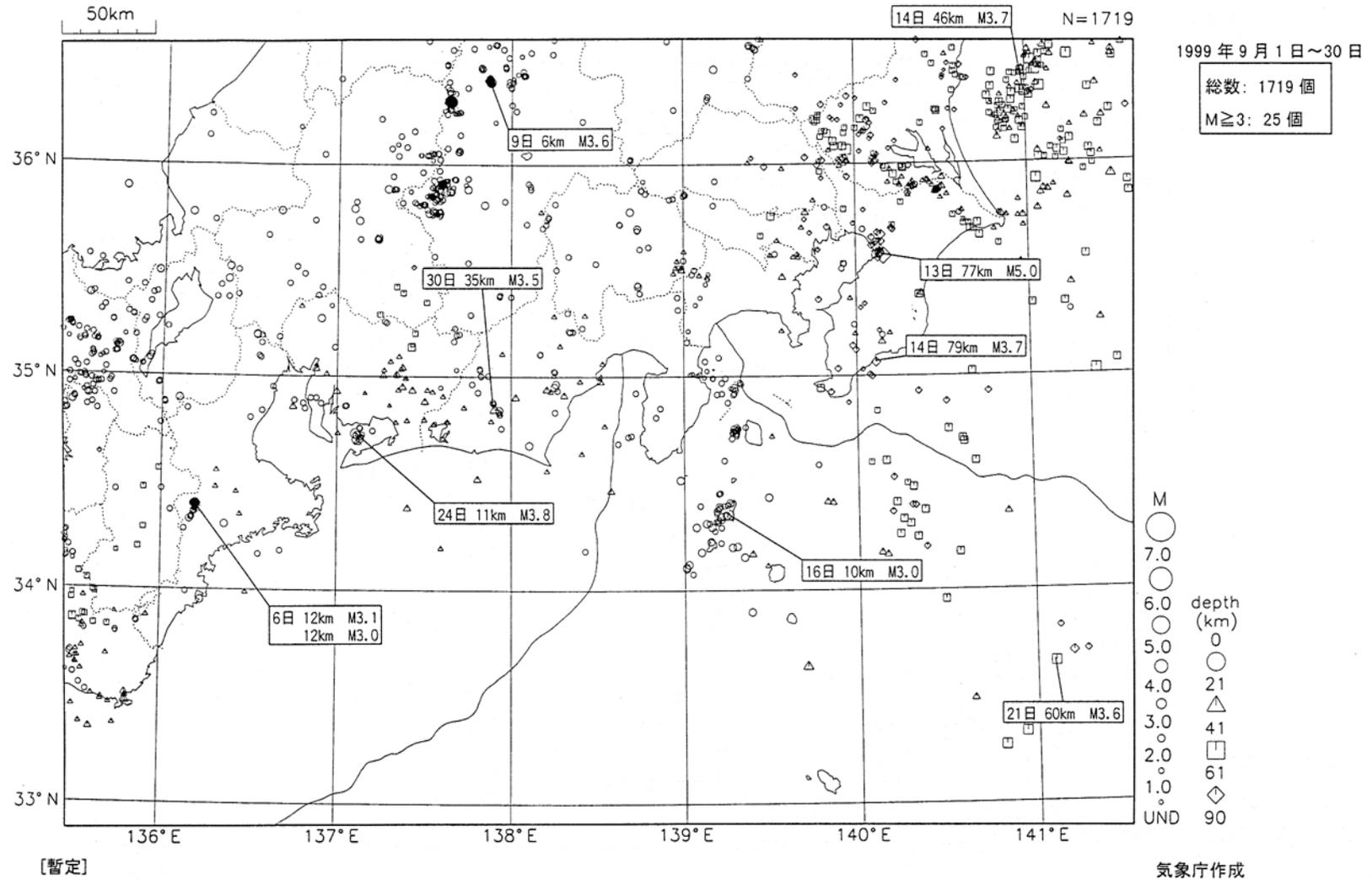
東海・南関東地域の地震活動



第1図 つづき。

Fig.1 continued

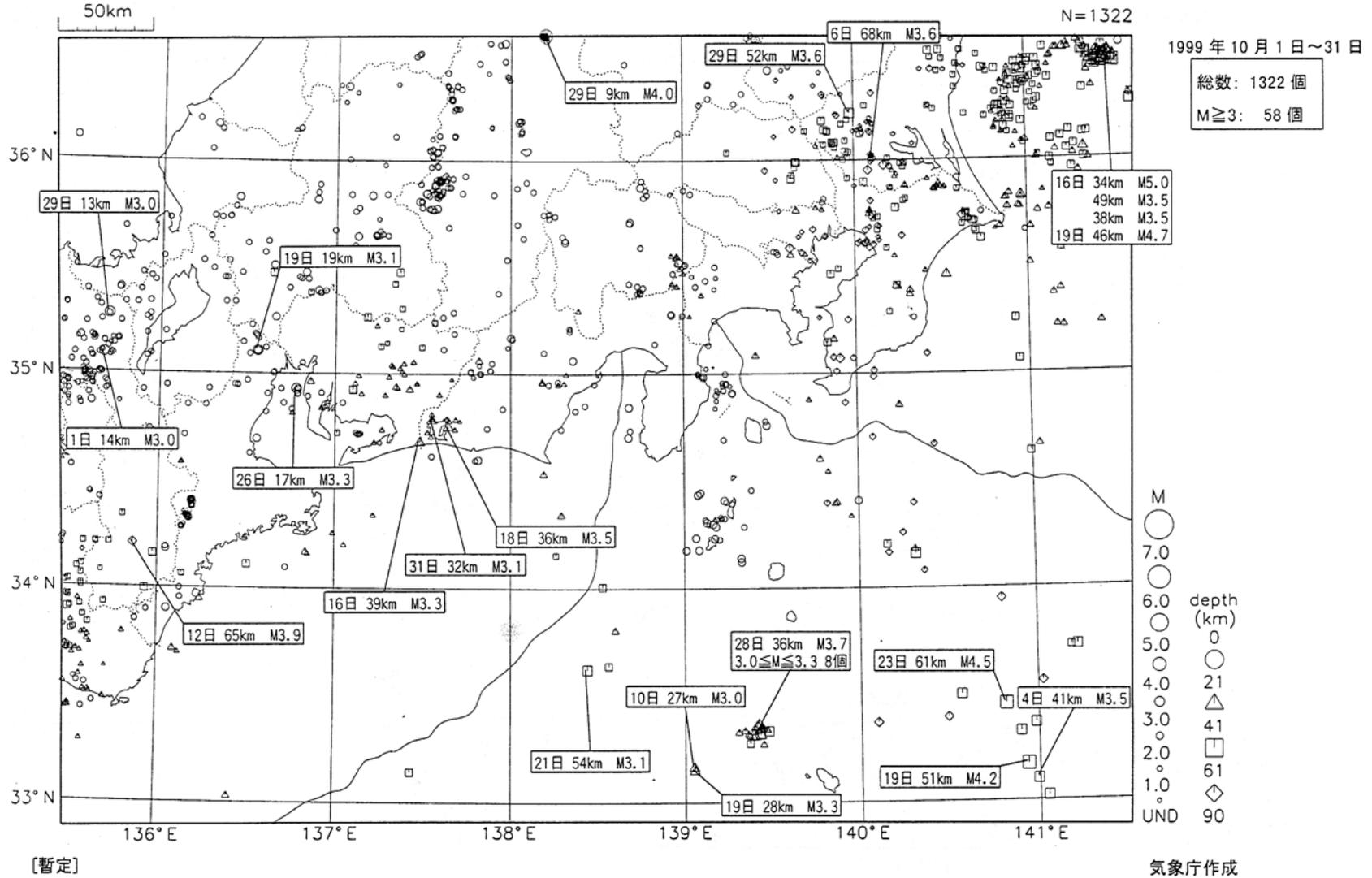
東海・南関東地域の地震活動



第1図 つづき。

Fig.1 continued

東海・南関東地域の地震活動

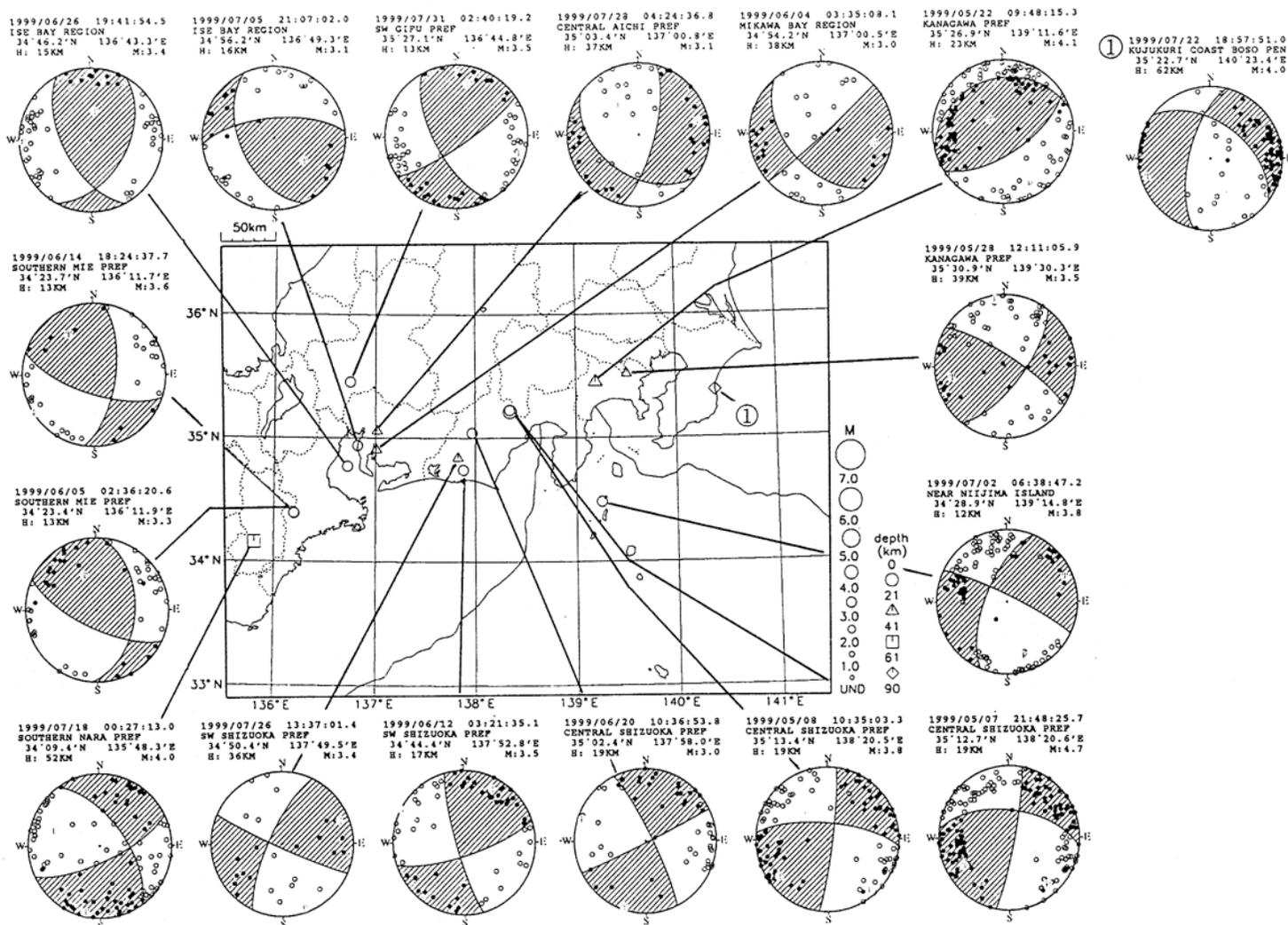


第1図 つづき。

Fig.1 continued

# 発震機構解 [暫定]

(1999. 5. 01 ~ 1999. 7. 31)



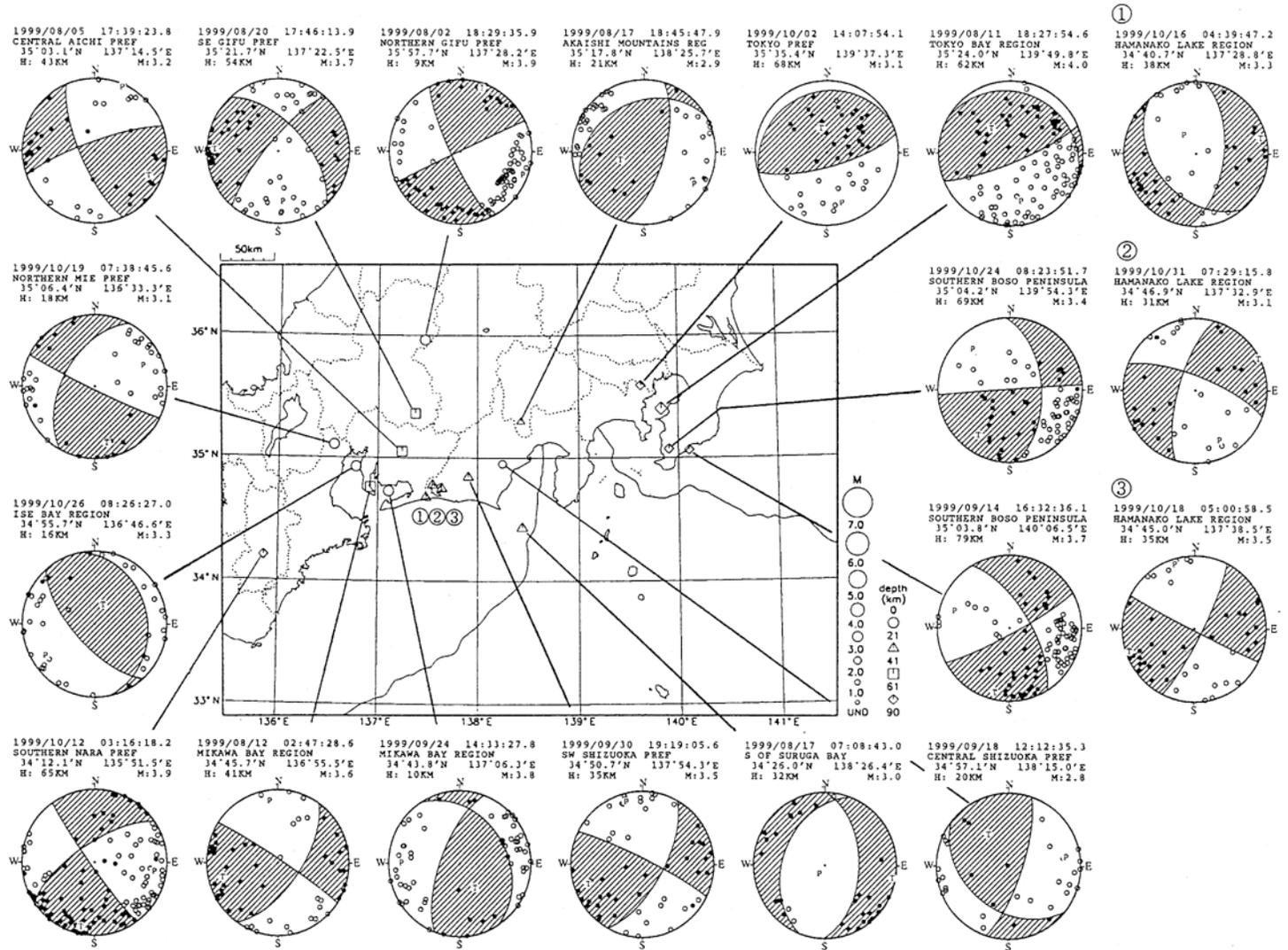
(下半球等積投影)

第2図 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (1999年5月~1999年10月)

Fig.2 Focal mechanism solutions of prominent earthquakes in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 1999-October, 1999).

# 発震機構解 [暫定]

(1999. 8. 01 ~ 1999. 10. 31)



(下半球等積投影)

第2図 つづき。

Fig.2 continued